

セブン銀行2023年3月期 第3四半期

決算説明資料

Today's Agenda

01 2023年3月期 第3四半期決算

 **02 事業別トピックス・主要計数**

03 APPENDIX

01 2023年3月期 第3四半期決算

第3四半期決算のポイント

業績概況

- ◆ 継続的な成長投資により減益だが、前年同期比で増収

国内ATM事業

- ◆ 件数は引き続き好調、台数は概ね計画どおり

金融サービス 事業

- ◆ 口座やローンを中心に成長が続く

海外事業

- ◆ 金利上昇等の要因で米国は厳しい状況だが、アジアの拡大が続く

2023年3月期 第3四半期損益状況〔連結〕

経常収益：単体が上振れたことに加え、アジアの子会社等を中心に伸長し増収
 経常利益：成長投資の継続により経常費用が増加、為替影響により米国の赤字が膨らみ減益

	2023年3月期第3四半期累計	2022年3月期第3四半期累計	前年比
経常収益	1,142 億円	1,031 億円	+10.7%
経常費用	913 億円	796 億円	+14.6%
経常利益	228 億円	235 億円	△2.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	153 億円	159 億円	△3.7%
EBITDA	371 億円	355 億円	+4.5%

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) 連結損益の為替レート 1米ドル: 2022年3月期第3四半期実績 = 108.58円

2023年3月期第3四半期実績 = 128.3円

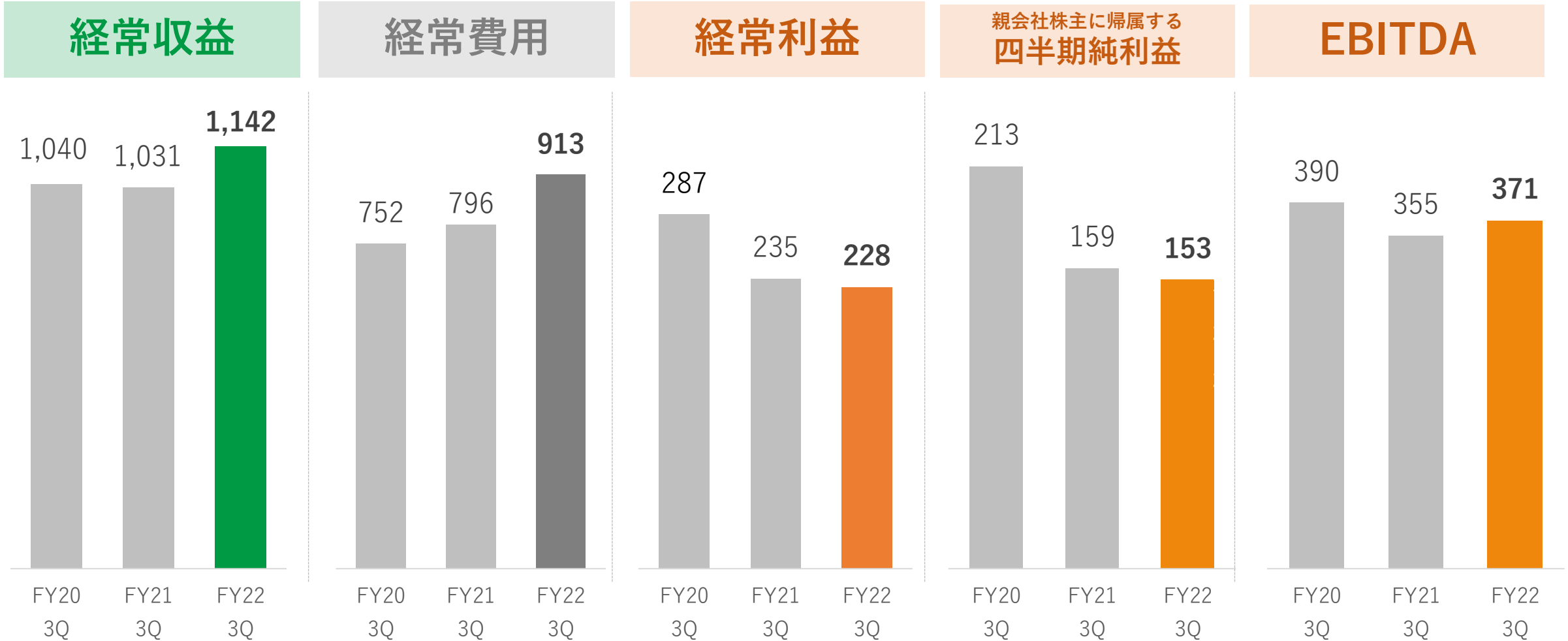
2023年3月期計画 = 131.00円 (期初計画 = 114.00円)

注5) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

第3四半期業績推移〔連結〕

【第3四半期累計比較】

(単位：億円)



注) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

01 2023年3月期 第3四半期決算 損益状況〔セブン銀行単体〕

2023年3月期第3四半期累計

2022年3月期第3四半期累計

前年比

経常収益

896億円

836億円

+7.1%

経常費用

654億円

605億円

+8.0%

経常利益

242億円

230億円

+5.2%

四半期純利益

162億円

147億円

+10.2%

EBITDA

367億円

341億円

+7.6%

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

業績予想

2023年3月期 通期予想〔連結〕

経常収益	1,490 億円
経常利益	280 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	195 億円

➤ 通期計画は変更なし

- ・ セブン銀行単体を中心に上振れが続くが、一部子会社で計画比減収・減益が発生
- ・ 為替相場の変動や物価高など外部環境が引き続き不透明なことから、業績予想は据え置き

2023年3月期 配当予想

➤ 当初計画より変更なし

- ・ 年間11円を計画（中間配当1株あたり5.50円、期末配当1株あたり5.50円）

■ 02 事業別トピックス・主要計数

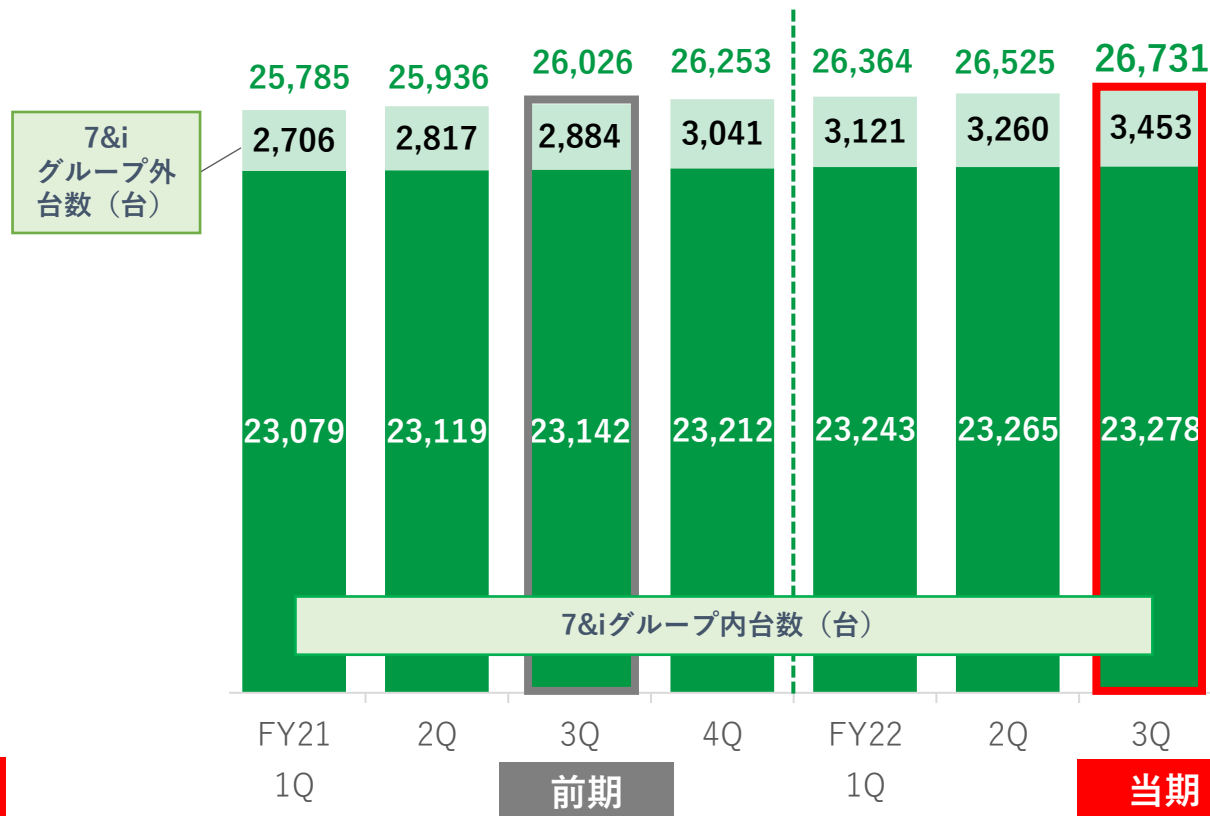
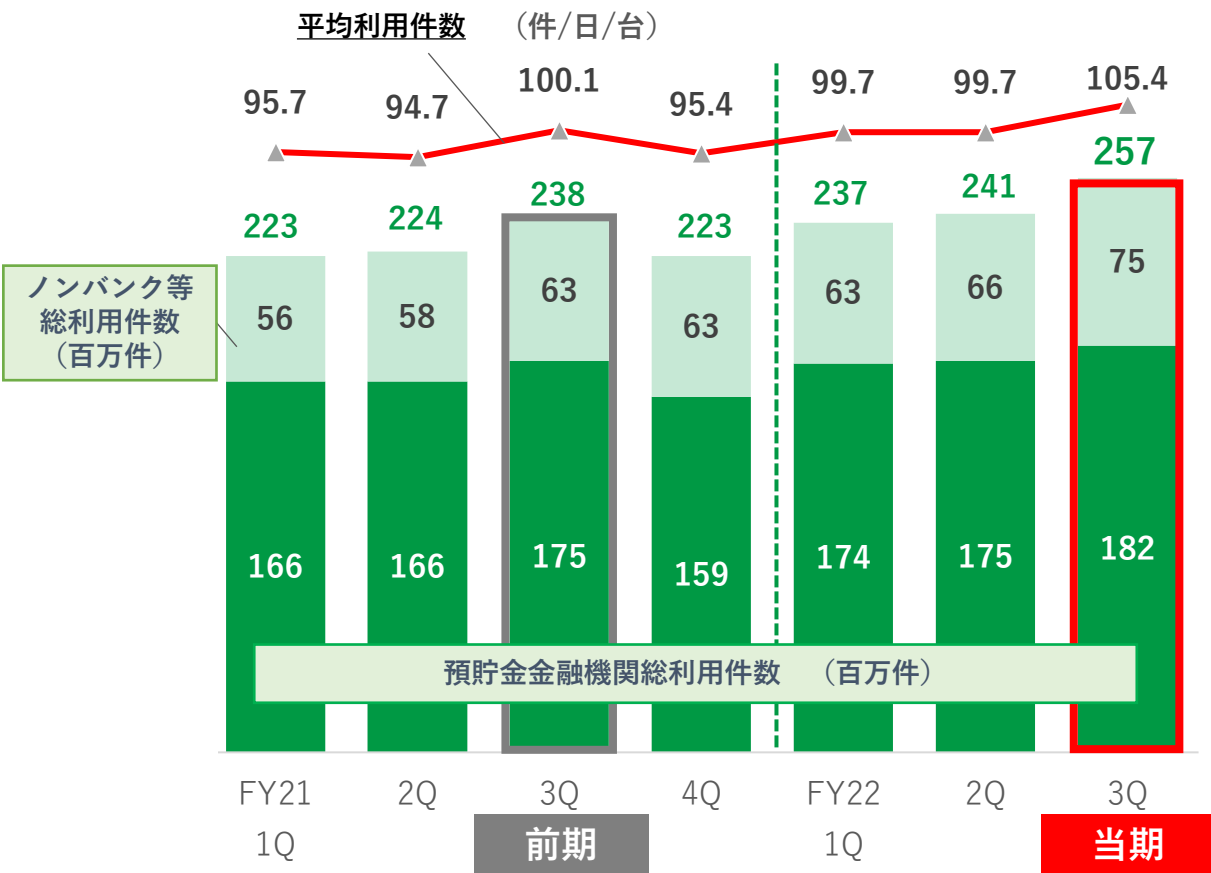
国内事業 (ATM) 主要計数

ATM利用件数の推移

■ 3Q累計 総利用件数：737百万件 (前年同期比+50百万件)
 平均利用件数：101.6件 (前年同期比+4.7件)

ATM台数の推移

■ +705台 (グループ内+136台、グループ外+569台)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず

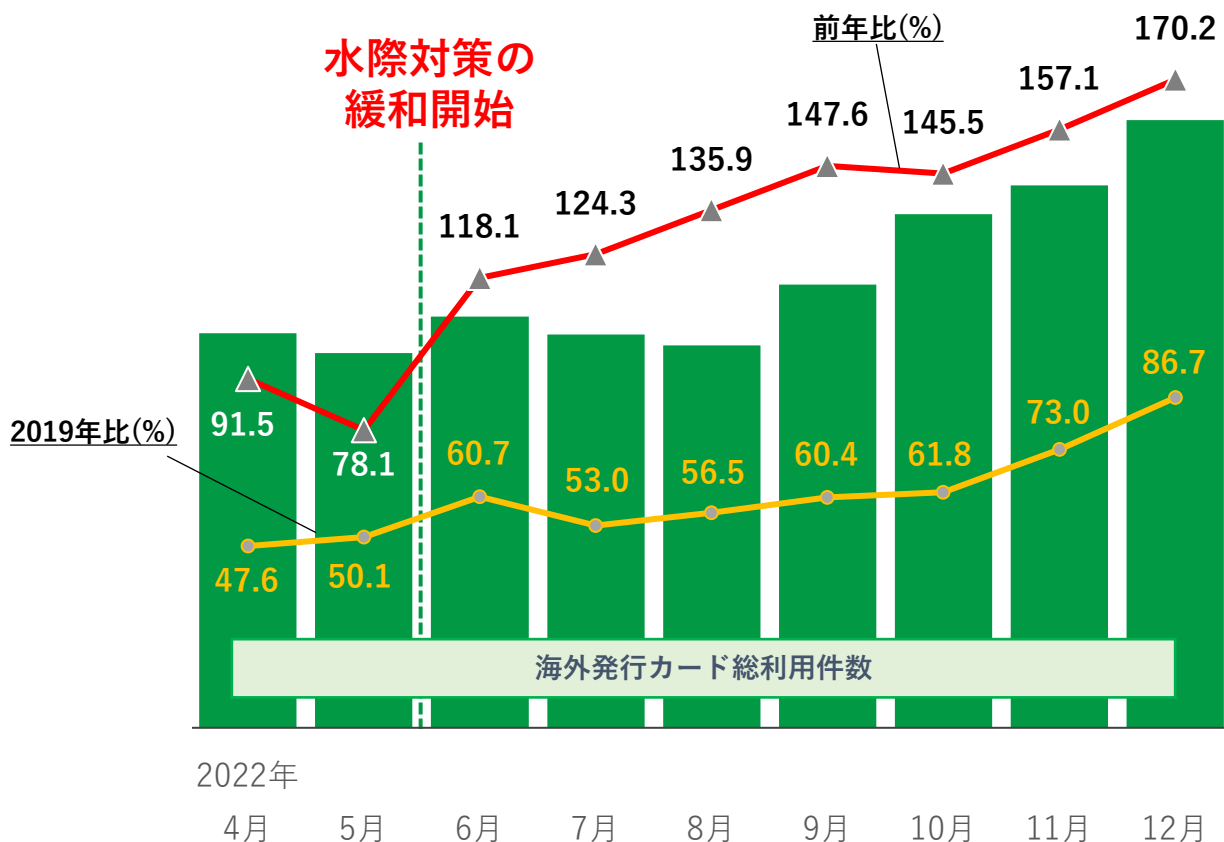
注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、コード決済事業会社等の合計

注4) 2023年3月期_第3四半期累計のATM受入手数料単価108.3円 ※ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出

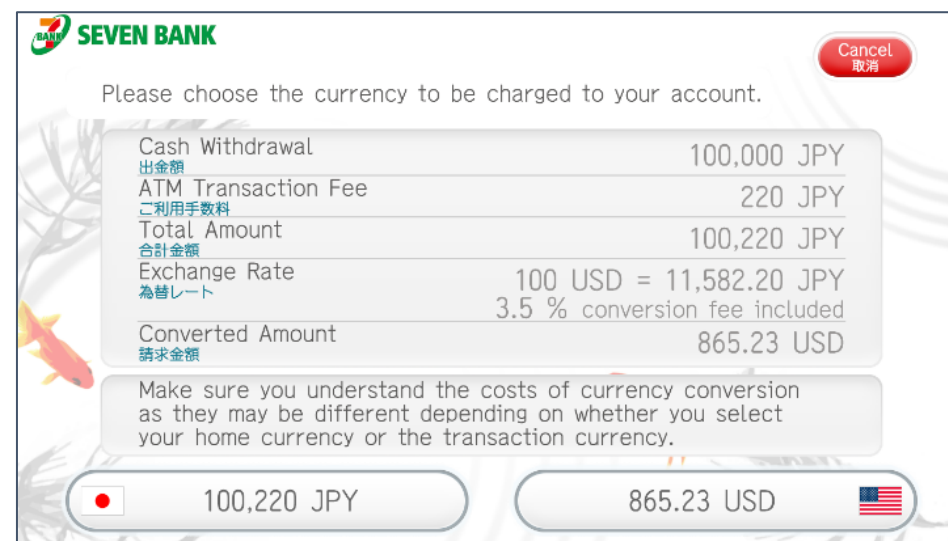
国内事業（ATM）トピックス

入国制限の緩和により海外発行カードの利用が好調

- 利用件数は前年比大幅増、2019年比でも8割以上まで回復



- 2022年7月より海外発行カードでの多通貨決済（DCC）サービスが開始



DCC選択率：25%

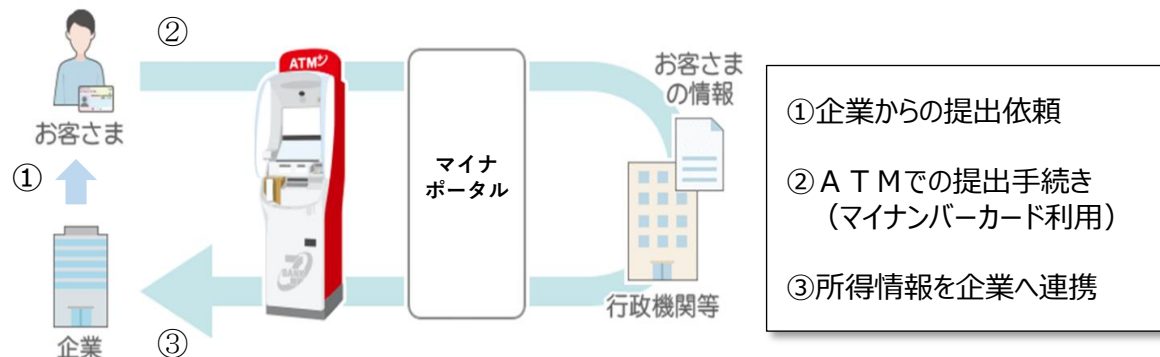
自国通貨での精算金額が確定する利便性が好評、空港等を中心に利用が進む

国内事業（ATM）トピックス

マイナンバーカードを利用した新サービス「マイナポータル情報連携サービス」の提供を開始

マイナポータル情報連携サービスの概要

- ATMでマイナンバーカードを利用することで所得情報を提出することが可能に



ローン申込時等の所得情報の提出ニーズに対応

2022年11月28日より
アイフル社がサービスの利用を開始



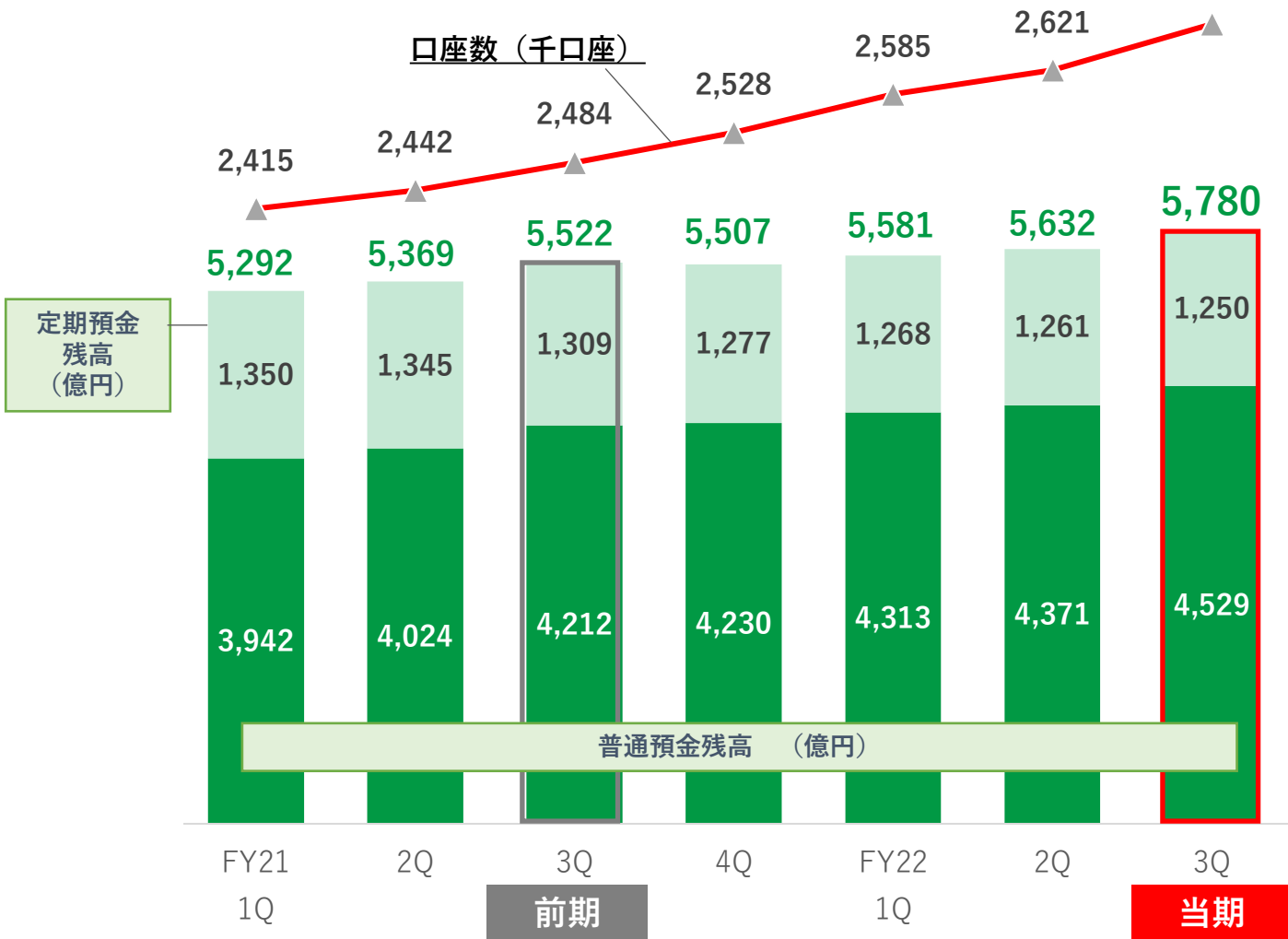
< 提携企業のメリット >

- データ連携による事務作業の負担軽減
- 偽造・改ざんのリスクなし
- 書類の発行手続きや時間的制約がなく、お客様の利便性も向上

国内事業（リテール：預金・後払い）主要計数

口座数と預金残高の推移（個人）

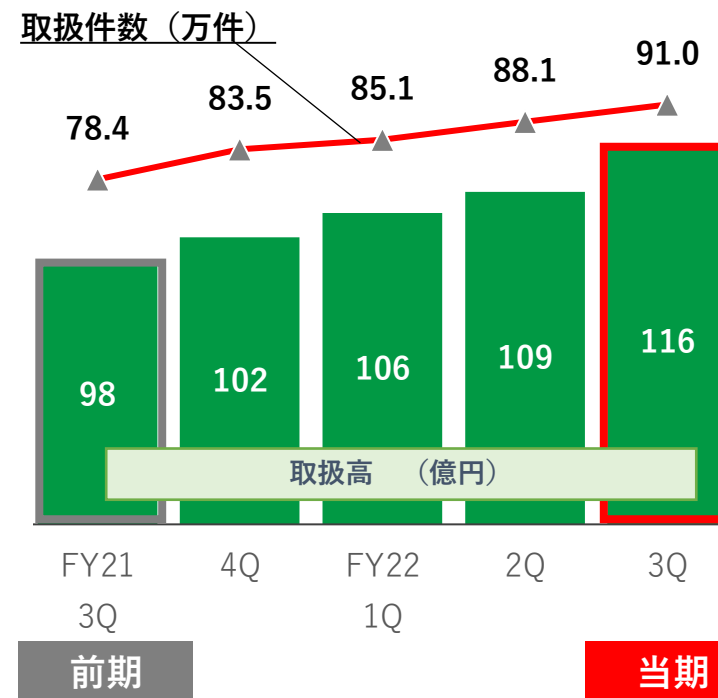
■ 口座数：+206千口座、預金残高：+258億円



注) 口座数と預金残高の増減に係るコメント及び数値は前年同期比

セブン銀行後払いサービス

■ 取扱高：+18億円、取扱件数：+12.6万件



カムム社と当社の
提携関係は継続

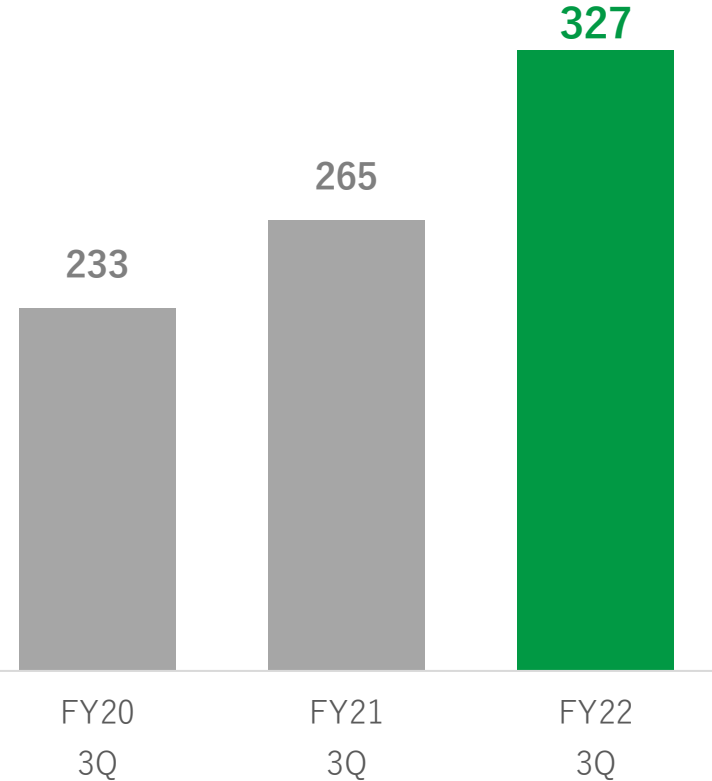
国内事業（リテール：金融サービス）主要計数

個人向けローンサービス

■ 獲得施策の強化 **+62億円**

注) 含Credd Finance提供サービス

期末残高（億円）

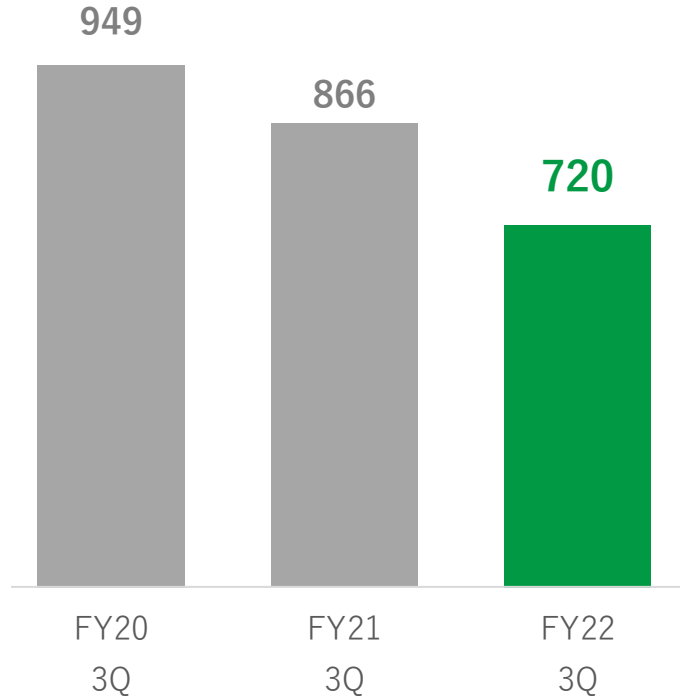


海外送金サービス

■ 入国規制により利用者数が減少 **△146千件**

注) 含セブン・グローバルレミット提供サービス

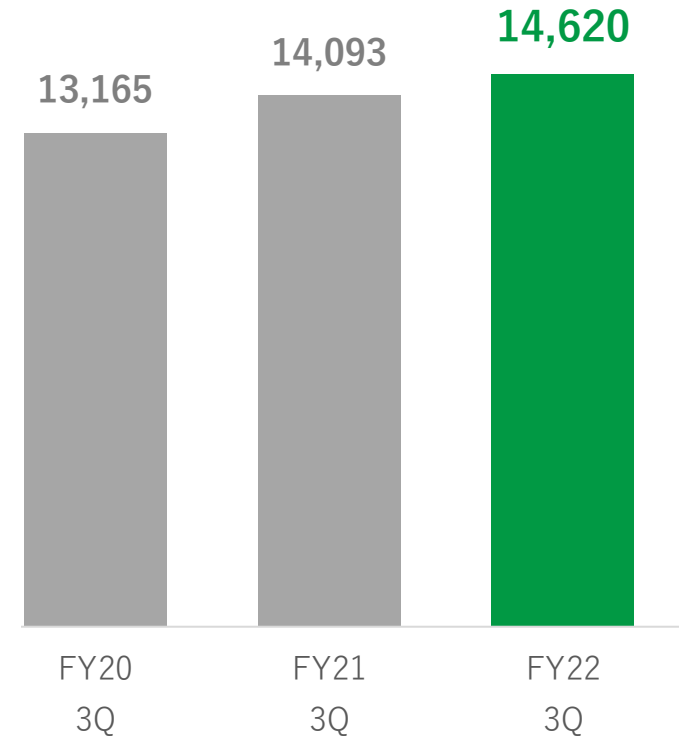
取引件数（千件）3Q累計



デビットサービス

■ 口座増に伴う取引増 **+527千件**

取引件数（千件）3Q累計



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
 注2) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

国内事業（リテール：金融サービス）トピックス

「お買い物投資コレカブ」を開始

- 2022年11月8日よりサービス提供開始
国内株式以外にも外国株式やETFの購入が可能



ビバビーダメディカルライフ社の連結を開始

- 2022年11月より連結開始



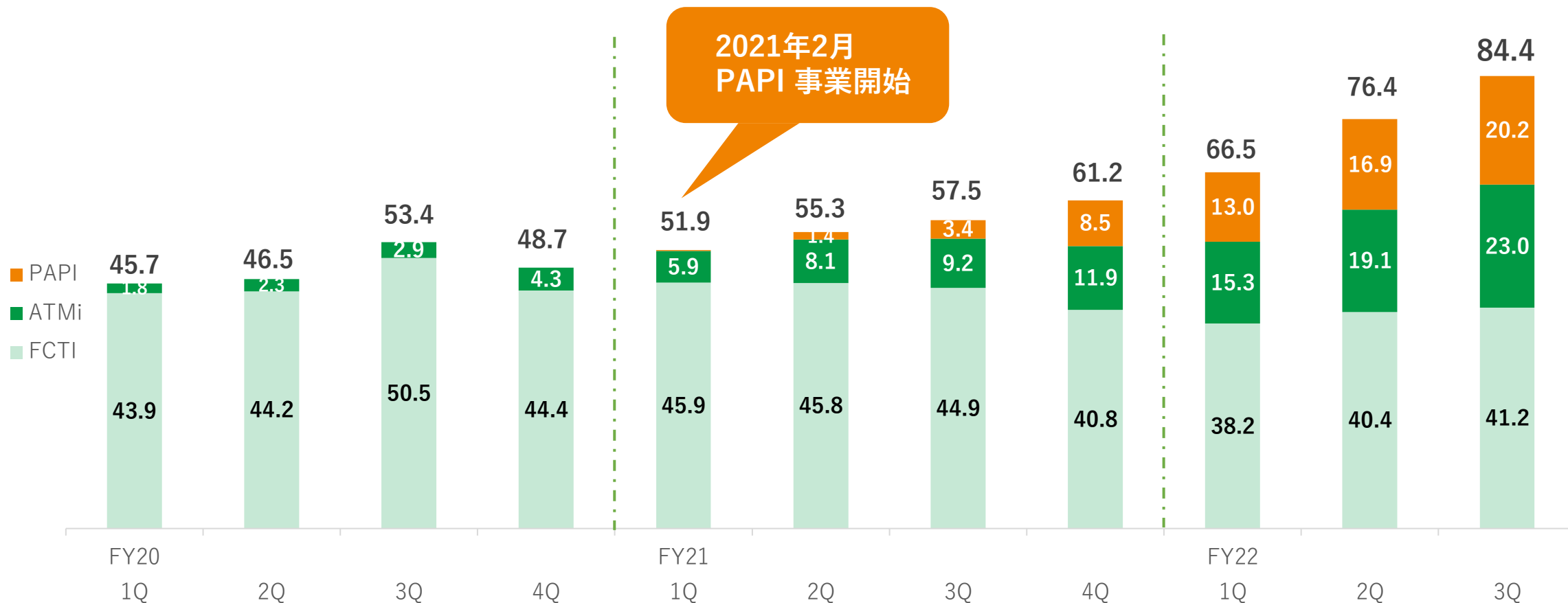
7BKグループとして在留外国人向け
ビジネスの更なる拡大を目指す

海外事業：概況

海外事業 ATM総利用件数の推移

■ インドネシア(ATMi)・フィリピン(PAPI)のATM設置が引き続き拡大し、ATM総利用件数が伸長

(百万件)



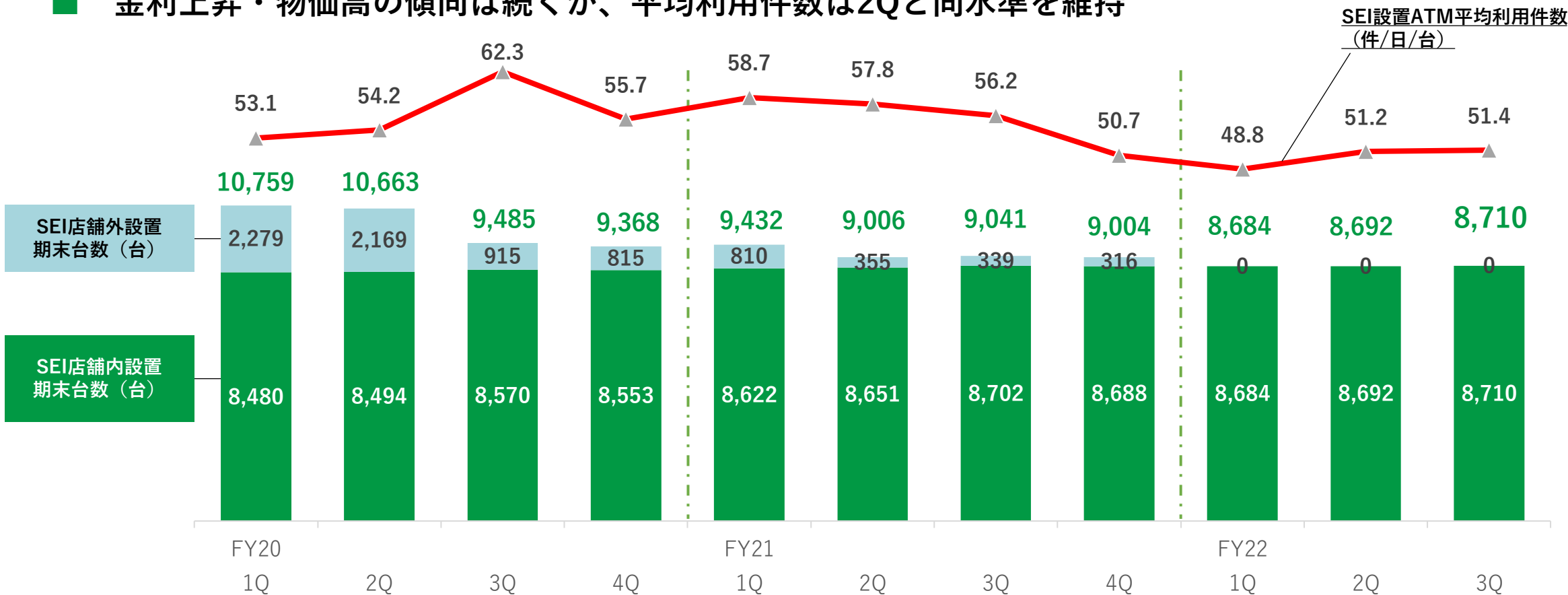
注) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)

海外事業

米国



■ 金利上昇・物価高の傾向は続くが、平均利用件数は2Qと同水準を維持



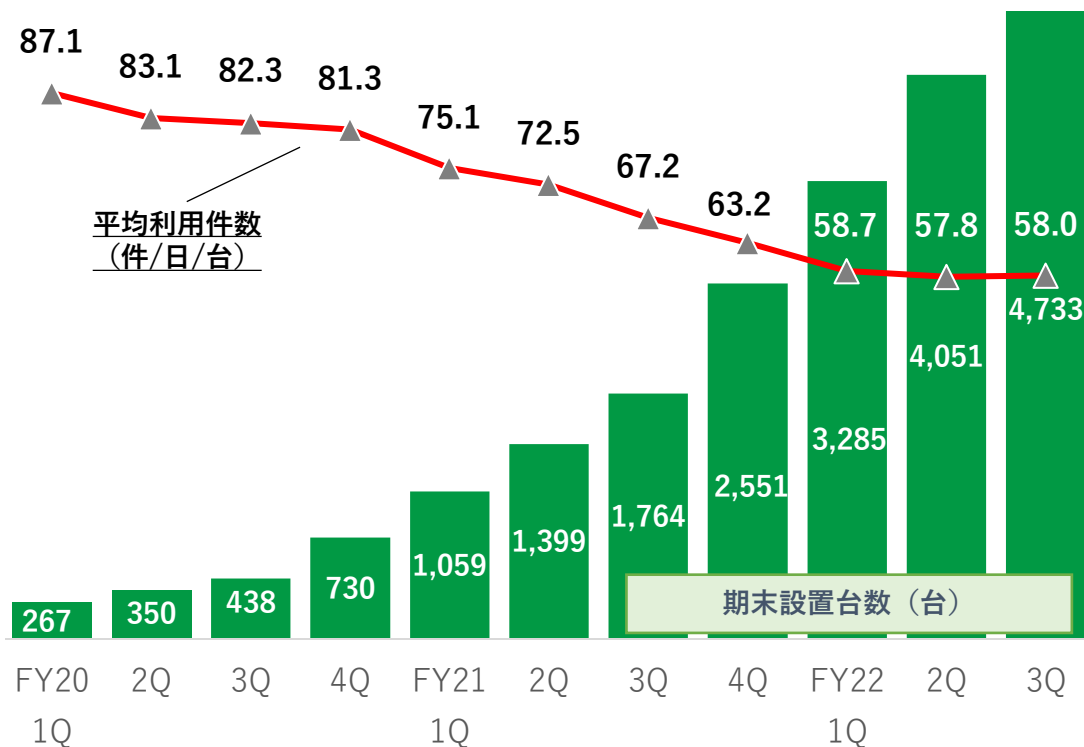
注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)

● **2022年12月末台数は8,643台 (速報値)** ※SEI店舗外ATMは撤去完了

インドネシア

- 2022年12月に増資を行い、当社およびiForte社からの資金調達を実施
最大財閥Djarumグループとの連携を強化し、2023年度は3,000台のATM増設を目指す



● 2022年12月末台数は5,557台 (速報値)

- 注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む
- 注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)
- 注3) 台数の速報値は受託設置を除く

NEWS RELEASE



2023年1月13日

インドネシア ATMi の増資による資金調達のお知らせ インドネシア最大財閥 Djarum グループとの連携強化

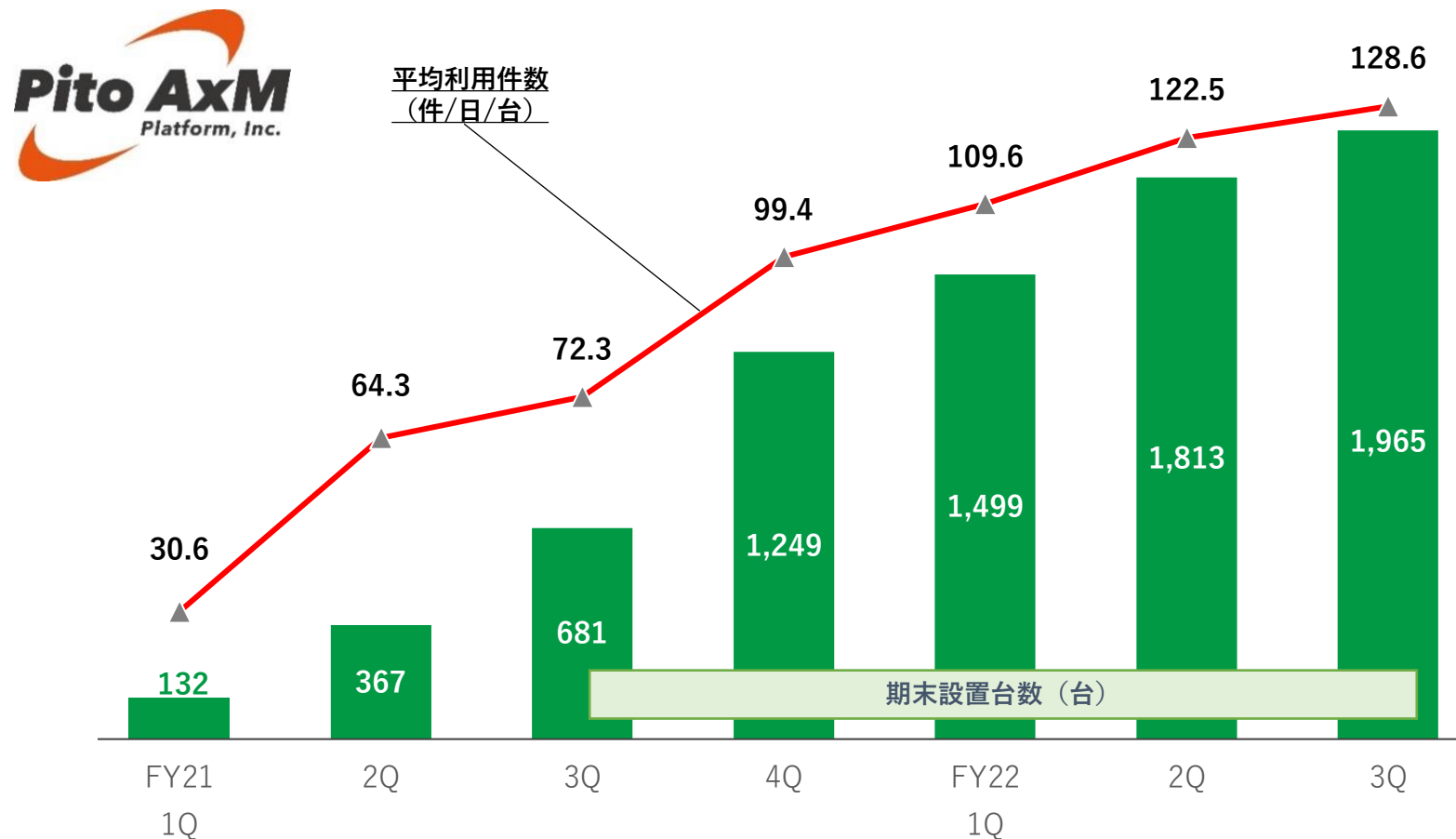
株式会社セブン銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松橋 正明、以下セブン銀行）の海外子会社である PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL（本社：インドネシア共和国 ジャカルタ首都特別州、PRESIDENT Director：渡部 譲、以下 ATMi）が、PT iForte Solusi Infotek（以下 iForte）とセブン銀行からの増資による資金調達を実施しましたのでお知らせいたします。これにより、既存出資先の PT. ALTO NETWORK 社と同じくインドネシアの大手財閥 Djarum グループ傘下企業である iForte 社が、新たな出資パートナーとして加わることとなりました。

世界第4位の人口を誇るインドネシアでは、金融サービスの普及にともない、ATMの需要が急速に高まっています。セブン銀行は2014年にATM運営事業会社である ATMi を設立し、現地コンビニエンスストアへのATM設置を進めて参りました。ATM設置台数は、同コンビニエンスストアの出店拡大を背景に順調に増加し、2022年12月末現在で、スマトラ島、ジャワ島、スラウェシ島など合計5,678台となりました。

今般の資金調達は、さらなる設置範囲の拡大を通じて、確固たるATMネットワークを確立するための成長投資と位置づけています。今後も、ATMi ではATM事業を核とし、ATM利用件数を予測するAI等のデジタル技術を活用しながら、インドネシアの金融サービスの普及に貢献すべく、様々な取組みを進めてまいります。

フィリピン

■ 設置台数の増加およびLandbankとの提携効果により、平均利用件数が増加



**2022年12月末台数
2,344台 (速報値)**

注1) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、売上金入金を除く
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、4Q (10月-12月)



03 APPENDIX

損益計算書<連結>

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	計画	通期
			前年差異	
経常収益	1,031	1,142	111	1,490
経常費用	796	913	117	1,210
経常利益	235	228	△7	280
親会社株主に帰属する 純利益	159	153	△6	195

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2022年3月期第3四半期実績 = 108.58円、2023年3月期第3四半期実績 = 128.3円、2023年3月期計画 = 131.00円 (期初計画 = 114.00円)

損益計算書<セブン銀行>

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画
				通期
経常収益	836	896	60	1,165
うちATM受入手数料	736	783	47	1,018
経常費用	605	654	49	890
経常利益	230	242	12	275
特別損益	△13	△5	8	0
法人税等合計	69	75	6	85
純利益	147	162	15	190
EBITDA	341	367	26	450
期末ATM設置台数（台）	26,026	26,731	705	26,953
ATM受入手数料単価（円）	109.4	108.3	△1.1	109.5
平均利用件数（件/台/日）	96.9	101.6	4.7	97.7
総利用件数（百万件）	686	737	51	948

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

損益計算書<FCTI>

(単位：百万米\$)

	2021年12月期	2022年12月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画
				通期
経常収益	159.0	139.9	△19.1	204.6
経常費用	139.7	141.5	1.8	191.1
経常利益	19.3	△1.5	△20.8	13.4
純利益	18.8	△1.7	△20.5	12.2
EBITDA	24.0	3.3	△20.7	18.8
期末ATM設置台数（台）	9,041	8,710	△331	8,818
うちSEI設置台数	8,702	8,710	8	8,818
平均利用件数（件/台/日）	54.1	50.2	△3.9	54.8
うちSEI設置	57.5	50.2	△7.3	54.8
総利用件数（百万件）	137.0	119.9	△17.1	175.4

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

損益計算書<その他子会社>

(単位：百万円)



	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画 通期
経常収益	1,672	2,228	556	2,700
経常費用	1,677	2,378	701	2,500
経常利益	△4	△149	△145	200
純利益	△5	△101	△96	138





	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期累計 実績	第3四半期累計 実績	前年差異	計画 通期
経常収益	325	381	56	599
経常費用	246	318	72	597
経常利益	78	63	△15	2
純利益	66	53	△13	1

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

損益計算書<その他子会社>

(単位：百万円)

 PT. Abadi Tambah Mulia Internasional	2021年12月期	2022年12月期		
	第3四半期累計実績	第3四半期累計実績	前年差異	計画
				通期
経常収益	979	2,902	1,923	3,894
経常費用	722	2,358	1,636	3,433
経常利益	256	543	287	461
純利益	256	537	281	394

 Platform, Inc.	2021年12月期	2022年12月期		
	第3四半期累計実績	第3四半期累計実績	前年差異	計画
				通期
経常収益	250	1,886	1,636	2,981
経常費用	399	1,979	1,580	3,232
経常利益	△148	△92	56	△251
純利益	△148	△94	54	△251

注1) 為替レート

 100インドネシアルピア 2021年12月期3Q累計実績 = 0.758円、2022年12月期3Q累計実績 = 0.877円
 1フィリピンペソ 2021年12月期3Q累計実績 = 2.220円、2022年12月期3Q累計実績 = 2.389円

注2) ATMi、PAPIの3Qは、1月-9月

注3) PAPIの2021年12月期3Qは2021年2月～9月の実績

注4) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。